

令和 7 年度(2025年度)
豊中市市民ホール等事業計画書

令和 7 年(2025年)2 月

豊中市市民ホール等指定管理者

JCD・日本管財・大阪共立グループ

令和7年度(2025年度) 豊中市市民ホール等 事業計画書

1. 事業コンセプト

豊中市市民ホール等指定管理者JCD・日本管財・大阪共立グループは、令和7年度(2025年度)も引き続き施設運営管理にかかるコンセプト(めざすべき姿)を「多様で魅力あるまち豊中の文化芸術を次代につなぐ創造発信拠点施設」と掲げます。また、下記3つの施設管理運営基本方針をもとに、心豊かな市民生活や活力ある地域社会の実現に寄与する拠点施設の使命を果たすべく、指定管理業務に取り組んでまいります。

[施設管理運営3つの基本方針]

- ① 多彩な文化芸術事業の提供と次代の地域文化を支える人材の育成
- ② すべての人にやさしく、誰もが参加できる事業運営と施設サービスの提供
- ③ プロパティマネジメントの視点による施設管理と地域活性化への貢献

基幹事業である文化芸術事業の企画運営では、豊中市文化芸術推進基本計画等、市政策との整合を図りながら、市民ホールが担う3つの使命である「文化芸術の創造の場〈つくる〉」「多様な文化芸術との交流の場〈まじわる〉」「地域と一体となったまちづくりの場〈ひろげる〉」の達成と豊中ならではの事業展開で独自性ある劇場ブランドの確立をめざします。

●鑑賞事業

「若いアーティストとの共創」「ジャンルのバランスがとれた公演構成」に重点を置いた年間プログラムで、芸術水準の高い作品の制作・発信に取り組みます。パートナーオーケストラである日本センチュリー交響楽団との共同制作による「センチュリー豊中名曲シリーズ」では、昨年行われたコンクールで注目を浴びた鈴木愛美(浜松国際ピアノコンクール日本人初優勝者)、児玉隼人(日本管打楽器コンクール トランペット部門最年少優勝者)など、次代のクラシック音楽界を担うアーティストを迎えます。また、元ベルリン・フィル首席オーボエ奏者・ハンスイェルク・シェレンベルガーがオール・モーツァルト・プログラムで挑むチェンバーシリーズ特別企画、ドイツ最高峰の金管アンサンブルとして知られる「ジャーマン・ブラス」など、世界レベルの音楽体験を提供します。更に、令和5年度に市民ホール等が制作し好評を博した俳優とオーケストラ奏者が協働する演劇作品「Play is Pray」を更にブラッシュアップした形で再演するなど、豊中独自のコンテンツの創出にも努めます。

その他、「ブラック・ボトム・ブラス・バンド」、「アンサンブルならく」など、豊中ゆかりのアーティストによる子どもから大人まで楽しめるコンサート、劇団四季ファミリーミュージカル、コラボレーションとしては珍しい文楽三味線と津軽三味線による企画など、幅広い世代が文化芸術に触れあえる魅力的な事業を展開します。

●普及事業

多様な実演芸術の普及に加え、市民参加、子どもたちの創造的活動機会の創出を図る事業展開に努めます。「こどもアートの日 2026」では、音楽や身体表現、視覚表現など多様なジャンルの芸術を子どもだけでなく誰もが気軽に鑑賞・体験できる包括的なアプローチで実施します。イマーシブ・シアター公演やデジタル・アート展のほか、市民参加型公演の事前ワークショップでは「邦楽 KIDS プロジェクト」や「地域のアート拠点プロジェクト」と連動させ、市民ホール等の全施設で創り上げるフェスティバルと位置付けます。その他、世界で活躍するバレエダンサー針山愛美と市民が共に創作・発表する「針山愛美ダンスプロジェクト」、クラシック音楽や伝統芸能など“古典”とカテゴリーされる芸術をより身近に感じるための講座「ここから始まるクラシック」等を実施します。

●人材育成事業

「とよなか ARTS ワゴン」では地域の中で文化芸術活動を行う上で基盤となる知識や実践的スキル等の習得を目指し、主に市民を対象に1年かけて取り組みます。特に、「アートマネジメント講座」では、社会包摂の枠組での“アートマネジメント”に重点を置き、医療・福祉・街づくり等の関係団体との連携を図ります。ほかに、市内小学校や福祉施設でのアウトリーチや前述の「こどもアートの日 2026」をはじめとした当館主催イベントでの企画制作参段階からの参画、リサイタル公演等の実施を通して、地域に密着したアーティストとして活躍を目的とした支援などを行います。

●伝統芸能館事業

子ども向けワークショップを中心に、伝統芸能をテーマに未来の文化芸術を担う子どもたちが伝統芸能に触れる機会を積極的に創出します。あわせて、「詩吟の祭典」や「伝統芸能館まつり」等の恒例の催事についても引き続き実施いたします。また、市民ギャラリーでは美術・展示系事業の実施を計画します。

友の会運営

会員数が減少傾向にある友の会運営については、会員特典内容や広報活動の拡充を図るとともに、多様な公演プログラムを組み合わせたパッケージチケットの導入など、制度設計の見直しを図ることで会員数の増加に努めます。

施設の運営(貸館事業)ではこれまで同様、顧客視点のサービスを提供し、施設の賑わいと高い施設稼働の維持向上に努めてまいります。また、施設管理面では、安全快適で誰もが使いやすい施設環境の維持とともに、環境への配慮や効率的な運営の実現に努めてまいります。大ホール・小ホールは今年で築年数9年目を迎え、舞台機構などのデジタル機器の入れ替え時期が迫っており、中ホールにおいては今年41年目を迎え、舞台機構も含め一部老朽化に対する工事が実施されます。そのため、定期的な保守点検や不具合への対応など、その都度入念なチェックを行い、リスクの検証と的確な報告を継続いたします。これらの取り組みが施設利用者へのサービス提供の基盤になることを念頭に置き、さらなる市民サービスの向上を目指してまいります。

2. 市民ホールの基幹事業に関する業務

① 人材育成・ボランティア組織コーディネート事業

- ・アートマネジメント講座の実施
- ・とよなか ARTS ワゴン 2025シーズンの実施
- ・レセプション育成事業、ボランティア組織運営
- ・地域アート拠点形成事業(こどもアートの日 2026事業の一環として実施)
- ・ワークショップ事業
- ・アウトリーチ事業
- ・ロビーコンサート
- ・伝統芸能館普及育成事業
- ・複合型アートフェスティバルの実施
- ・その他普及育成事業

② 鑑賞事業の企画・実施

- ・クラシックコンサートシリーズ
- ・ポップス、ジャズ等コンサートシリーズ
- ・最先端の複合芸術作品公演
- ・演劇・舞踊等のパフォーミングアーツ公演
- ・伝統芸能、邦楽公演
- ・映画上映
- ・展覧会事業
- ・その他共催公演

③ 情報提供事業

- ・地域文化芸術情報の受発信
- ・デジタルツールを利用した情報発信
- ・ホール情報紙やホームページを通じた施設情報の提供 等

④ 相談事業

- ・施設利用に関する相談・アドバイス業務の実施
- ・ホール利用見学会の拡充、特化型の相談会の実施
- ・自治体や他施設、業界団体等の視察・見学への対応 等

⑤ 「友の会」運営業務

- ・豊中市市民ホール友の会(club CaT)の組織運営
- ・チケット優待サービスや会員向け情報発信 等

⑥ 広報・宣伝事業

- ・施設ホームページの運営：
施設、事業、各種募集、貸館催事等の情報発信
- ・情報紙、催事情報カレンダーの作成・発行(隔月発行予定)
- ・施設パンフレット、利用案内リーフレットの作成
- ・チラシ・ポスター等の作成
- ・フェイスブック、X(旧ツイッター)、YouTube など SNS による広報・宣伝活動 等

3. 施設の運営(貸館事業)に関する業務

① 開館時間および受付時間:

- ・文化芸術センター/午前9時～午後10時(受付 午前9時～午後8時)
- ・ローズ文化ホール/午前9時～午後10時(受付 午前9時～午後8時)
- ・伝統芸能館/午前9時～午後9時(受付 午前9時～午後9時)
- ・市民ギャラリー/午前10時～午後7時(受付 午前10時～午後7時)

② 休館日:

- ・文化芸術センター

月曜日と年末年始(12月29日～1月3日)。

ただし、月曜日が「国民の祝日に関する法律」に規定する休日にあたる場合は開館。

※中ホールのみ令和7年4月1日～8月31日工事につき休館

- ・ローズ文化ホール

火曜日と年末年始(12月29日～1月3日)。

ただし、火曜日が「国民の祝日に関する法律」に規定する休日にあたる場合は開館。

- ・伝統芸能館

月曜日と年末年始(12月27日～1月5日)。

ただし、月曜日が「国民の祝日に関する法律」に規定する休日にあたる場合は開館。

- ・市民ギャラリー

月曜日と年末年始(12月27日から1月5日)。

4. 施設及び設備の維持管理に関する業務

① 業務内容

- ア) 舞台の管理
- イ) 収蔵庫の管理(文化芸術センター)
- ウ) 特別展示室の管理(文化芸術センター)
- エ) 各諸室の管理
- オ) 植栽の管理
- カ) 清掃業務
- キ) 保安警備業務
- ク) 建物・設備の維持管理
- ケ) 備品、消耗品等の管理
- コ) コミュニケーションロビー(カフェ)およびビュッフェの運営管理
- サ) 文化芸術センター等駐車場の管理

5. 令和7年度(2025年度)事業ラインアップ一覧(予定)

① 鑑賞事業(事業名はいずれも仮題)

事業名(仮題)	開催日(予定)	会場	共催団体等
●クラシックシリーズ			
ハンスイェルク・シェレンベルガー 室内楽プロジェクト in Toyonaka	5月3日(土・祝)	大ホール	
アンサンブルならく	6月1日(日)	展示室	アンサンブルならく
センチュリー豊中名曲シリーズ Vol.34~Vol.37	Vol.34 6月7日(土) Vol.35 9月13日(土) Vol.36 12月13日(土) Vol.37 3月28日(土)	大ホール	
にほんのうた Vol.16~Vol.17	Vol.16 7月16日(水) Vol.17 2月27日(金)	小ホール	
2025 ズーラシアンブラス サマーミュージックフェスティバル 大阪公演	8月9日(土)	大ホール	スーパーキッズ
ベストクラシックシリーズ ジャーマンブラス	10月10日(金)	大ホール	プロ アルテムジ
大阪フィルハーモニー交響楽団 豊中特別演奏会	2月6日(金)		
TRANCE 2026	調整中	小ホール	
●ポップスコンサート			
石井竜也公演	4月29日(火・祝)	大ホール	キョウドー
●ジャズコンサート			
ブラックボトムブラスバンド ハッピーパレード~ローズ春のわくわくフェス	4月5日(土)	ローズ文化ホール	
FMCOLO 「World Jazz Warehouse」Presents JAZZ “BIG BAND STYLE”	10月31日(金)	中ホール	大阪共立
●シアターシリーズ			
針山愛美プロデュースダンス公演	調整中	中ホール	一社)イーアイアーツ
ローズちびっこげきじょう Vol.4 劇団うりんこベイビーシアター「MARIMO」	11月29日(土)	ローズ文化ホール	
劇団四季 ファミリーシアター	1月10日(土)	大ホール	
Play is Pray	2月20日(金) 2月21日(土)	中ホール	

●伝統芸能・邦楽			
文楽三味線×津軽三味線コンサート	7月10日(木)	小ホール	
●映画上映			
とよキネマ 全10回	各月一回、8月、2月を除く	小ホール/ 中ホール	

② 普及育成事業

事業名(仮題)	開催日(予定)	会場	共催団体等
とよなか ARTS ワゴン 2025 シーズン ●アートマネジメント講座 ●講座「市民アートコーディネーター育成プログラム」 ●アウトリーチプログラム制作合宿 ●アウトリーチ事業「ふれアート」	通年	諸室 市内学校	
●とよなか ARTS ワゴン・フェスティバル ●柳野伽耶 マリンバリサイタル ●野村友輝 クラリネットリサイタル	6月14日(土) 1月30日(金) 2月13日(金)	ホール	
レセプション育成事業	通年	-	
社会包摂事業「お茶の間オーケストラ」	通年	-	
センチュリー豊中名曲シリーズ 関連企画	全4回実施(調整中)	調整中	
ここから始まるクラシック!	調整中	調整中	
邦楽 KIDS プロジェクト	調整中	伝統 芸能館	
地域のアート拠点事業	調整中	ローズ文 化ホール	
こどもアートの日 2025	3月20日(金・祝)	全館	
針山愛美ダンスプロジェクト Vol.9 (ワークショップ及び成果発表会)	調整中	中ホール	
大阪大学共催事業	調整中	調整中	
大阪音楽大学共催公演	調整中	調整中	大阪 音楽大学

③ 展示事業

事業名(仮題)	開催日(予定)	会場	共催団体等
とよなかアーツプロジェクト 2025 「林勇氣展」	2月(予定)	展示室	
市民ギャラリー企画展	6月3日(火)~15日(日)	市民 ギャラリー	

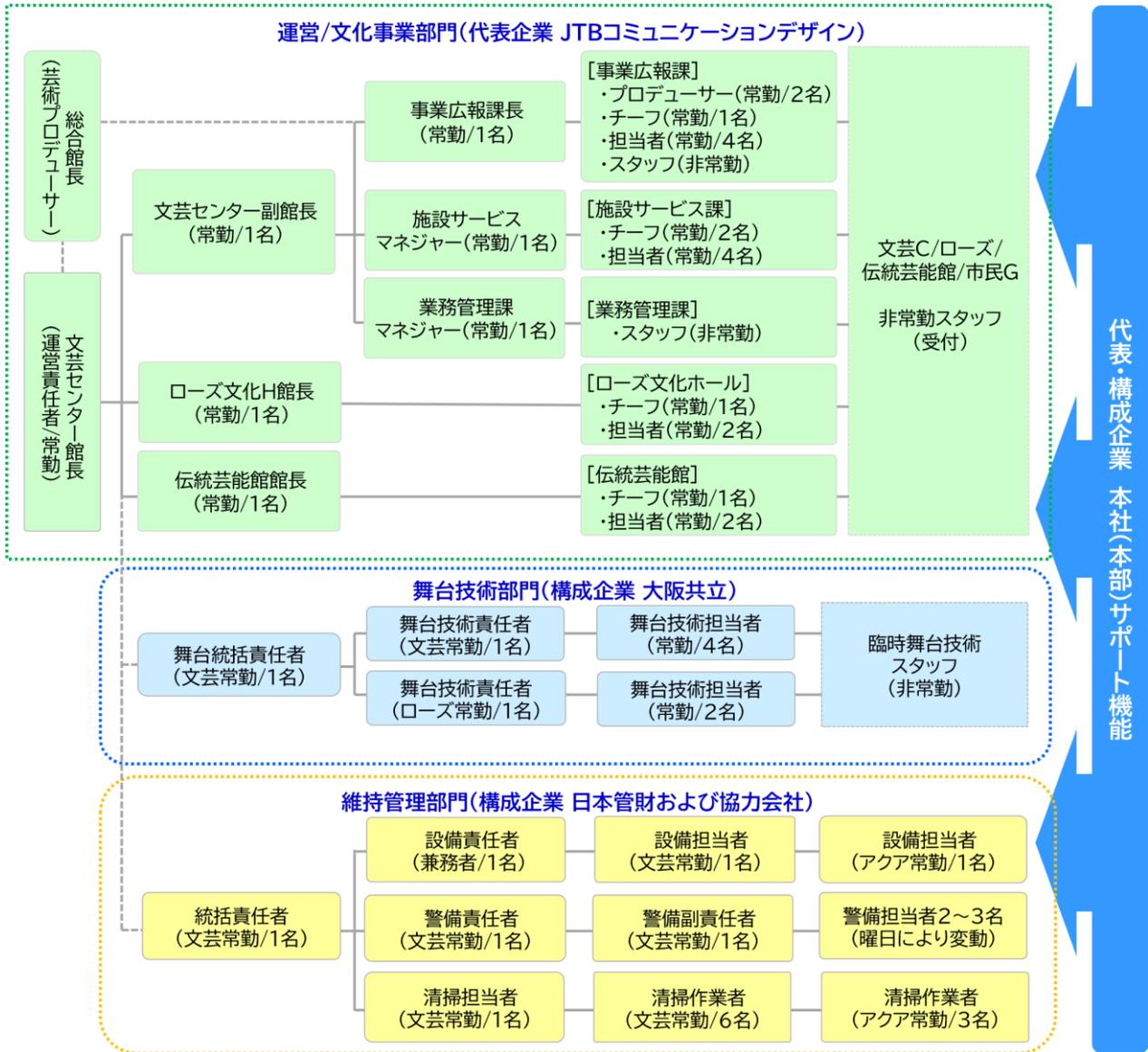
④ 文芸センターロビーコンサート

事業名(仮題)	開催日(予定)	会場	共催団体等
ロビーコンサート	調整中(複数回開催予定)	大ホール ロビー他	

⑤ 伝統芸能館普及育成事業

事業名(仮題)	開催日(予定)	会場	共催団体等
豊中芸人倶楽部寄席	第83回 6月上旬 第84回 10月上旬	伝統 芸能館	
怪談×会談	9月下旬	伝統 芸能館	
日本の伝統芸能にふれよう(全5回) ①「文楽」 ②「歌舞伎舞踊」 ③「狂言」 ④「和妻」 ⑤「太神楽」	① 6月28日(土)・29日(日) ② 8月下旬 ③ 11月後半 ④ 1月後半 ⑤ 2月後半	伝統 芸能館	
旭堂南北一人語り「ひ・ろ・し・ま」	8月上旬	伝統 芸能館	
詩吟の祭典 in 豊中	11月中旬	伝統 芸能館	
邦楽鑑賞会	12月上旬	伝統 芸能館	
伝統芸能館まつり	2月上旬	伝統 芸能館	

6. 管理運営組織図



7. 令和7年度(2025年度)収支予算書

令和7年度(2025年度) 豊中市市民ホール等収支予算書

【収入の部】

(単位:千円)

項目	金額	備考
指定管理料	454,766	
利用料金収入(4施設)	157,578	
文芸センター駐車場料金収入	13,800	
自主事業収入	56,380	チケット収入、共催負担金、助成金収入等
友の会会費収入	2,400	年会費収入
その他収入	1,200	販売手数料、広告収入、雑収入等
合計	686,124	

【支出の部】

(単位:千円)

項目	金額	備考
人件費	188,573	給与、各種手当、賞与、通勤費及び社会保険料、福利厚生費、教育費等含む
物件費(事業費)	111,900	鑑賞事業、普及育成型事業、友の会事業
物件費(施設維持管理経費)	358,629	
物件費(事務経費)	27,022	
合計	686,124	

※消費税10%を含む